

しなののうた

落日の琥珀色する山の端を流るる雲に思いを馳せり

l.MI

杉田小百合

しなののうた

家家をともしび重ね秋の日は
すたとんと落ちて寛ぎの夜

杉田小百合



しなののうた

日が落ちて闇に聞こえるこおろぎの声心地よく眠りを誘う



杉田小百合

しなののうた

式部の実紫耀う光にてあるを知りたる公園の隅

杉田小百合



しなののうた

地の上をこつこつ叩く鳩の群れ戯れているハト語りたし



杉田小百合